

第2回経営発達支援計画に関する連絡会議議事録

日 時 令和3年2月5日(金) 午前11時～

場 所 南部町商工会館

出席者 山田賢司、田島 豪、夏堀文孝、本田篤、久保良仁、藤林寛
山田耕蔵、本田博美、米田吉宏、佐々木朋治、越野稔
久慈明彦

定刻、坂本事務局長司会により第2回経営発達支援計画に関する連絡会議を開催する旨宣し、開催に先立ち山田会長より本日の出席者に対してコロナ禍でのお礼と今回の会議の主旨説明を兼ねた挨拶があり早速山田会長を座長に懇談へと入った。

・令和2年度経営発達支援計画評価について

事務局久保田総括経営指導員より、今年度の取組み状況については、事前資料として各出席委員へ配布しており、事前評価いただいている旨説明、その後令和2年度の経営発達支援事業の内容6項目、地域経済の活性化に資する取組み、経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上についての取組みについて説明がなされた。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、国・県・町からコロナ支援対策があり、状況についても説明がなされた。

【主な意見】

- ・来年度の重点課題は、後継者を育て事業を継続し、地域から事業者をなくさないためにも、意識改革を提案する支援が必要である。
- ・事業承継セミナーには、事業を受け継ぐ側の若い世代の参加者が多く、5年後のバトンタッチのためにも、新たな政策を活用した支援を機関と連携し行って頂きたい。
- ・全会員の半数以上は、後継者問題を抱えていると思われるため、個別の支援が必要であり、21あおもりのエリアコーディネーター等を活用して問題提起だけではなく、解決できる支援を行って頂きたい。
- ・各金融機関でも、事業承継には積極的に支援を行っており、特にM&Aの意識が地域では薄く、情報提供の周知、M&Aに特化したセミナーも連携して実施してはどうか。
- ・コロナの影響で、廃業・事業縮小もあるため、同業種の連携やビジネ

スマッチングの支援等も必要になってくるのではないか

- ・ 広域連携での事業承継セミナー・研修・事業支援を積極的に進めて頂きたい
- ・ まごころ宅配事業が低迷しているため、好調な移動販売事業の拡大も検討できるのではないか
- ・ 三町食べ歩きスタンプラリーは今後も継続して、町の活性化に役立てて頂きたい
- ・ コロナ禍で、ユータン者が増加傾向にあるため、新規創業や農業と連携した支援も必要になってくるのではないか

最後に今後の予定について事務局より説明。今回の審議結果及び総合評価結果を今後開催される役員会などへの報告の後、ホームページにて公表する旨説明した。また来月には今回の意見を踏まえ、次年度の予算要望に対応していきたい旨説明し出席者は了承した。本連絡会議は無事終了した。

・ 評価結果

1.経営発達支援事業の内容	評定平均	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
①地域経済の動向把握に関する こと	4.55	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
②経営状況の分析に関する こと	4.18	5	5	5	5	3	5	5	5	5	3
③事業計画策定支援に関する こと	3.27	3	1	5	5	3	3	5	3	5	3
④事業計画策定後の実施支援に 関すること	2.91	3	1	5	5	3	1	5	3	3	3
⑤需要動向調査に関する こと	2.91	1	1	1	5	3	3	5	3	5	5
⑥新たな需要の開拓に寄与する 事業に関する こと	1.45	1	1	1	1	1	1	3	1	5	1
2地域経済の活性化に資する 取組	3.82	5	5	5	1	3	3	5	5	5	5
3.経営発達支援事業の円滑な 実施に向けた支援能力向上への 取組	4.36	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5